

| 議長 | 副議長 | 事務局長 | 次長 | 係長 | 係員 |
|----|-----|------|----|----|----|
|    |     |      |    | —  |    |

## 復命書

令和5年5月12日

三沢市議会議長 堀 光雄 殿

### 議会運営委員会

|              |  |
|--------------|--|
| 委員長 森 三郎     |  |
| 副委員長 小比類巻 雅彦 |  |
| 委員 久保田 隆二    |  |
| 委員 田嶋 孝安     |  |
| 委員 下山 光義     |  |
| 委員 瀬崎 雅弘     |  |
| 委員 馬場 駒一     |  |
| 議長 堀 光雄      |  |

随行者（議会事務局）

|               |  |
|---------------|--|
| 議事総務係長 白銀 壮太郎 |  |
| 主査 中嶋 泰史      |  |

令和5年5月9日から5月11日まで、佐賀県神埼市及び福岡県古賀市において、当委員会の行政視察を実施したので、その概要について下記のとおり復命いたします。

記

## 視察概要－1【佐賀県神埼市】

1 日 時：令和5年5月10日（水）9時30分～11時00分

2 場 所：神埼市役所 4階 本会議場

3 対応者：神埼市議会 議長 田原和幸 氏

議会運営委員会委員長 福田清道 氏

同事務局 事務局長 久保山直人 氏

副課長兼議会係長 黒田了平 氏

議会係主事 小柳咲季 氏

4 観察項目：(1) 議場のユニバーサルデザイン化について

(2) 議場システムの運用について

5 観察概要：

(1) 議場のユニバーサルデザイン化について

○ユニバーサルデザインの現状

神埼市議会では、令和2年9月の新庁舎での業務開始に伴い、本会議場も新しくなっており、傍聴席入口へのスロープの設置や段差手前の点字ブロック設置など、バリアフリー法の基準に即した対応がなされている。また、傍聴者が議事堂での発言を聞き取りやすくするため、磁気ループアンテナ及び受信機を導入しており、使用した傍聴者からは好評の声が上がっているとのことであった。

一方で、本会議場内の議席部分のユニバーサルデザイン化については、当初、フロアをフラットにする案が出ていたものの、議会側から段差をつけてほしい旨の意見が出たことから、設計変更された経緯があるとのことであった。なお、議席の椅子については、キャスター付きのものが導入されていることから、車いすで出席する場合も対応は可能であるとのことであった。（現時点での車いすでの出席実績はない）

○今後の課題

今後の課題としては、実現は難しいかもしれないが、傍聴者入口のスロープの勾配について、現状の1／12ではなく、車いすが自走で上りやすい1／15が望ましいこと及び議場内の段差解消のため、簡易スロープの設置などを検討する必要があるとの説明があった。

(2) 議場システムの運用について

○導入経緯とメリット・デメリット

新庁舎建設に伴い、基本設計内で条件を付して発注していたことから、特段議会事務局として、現システムを指定したわけではないとのことであった。

現在、株式会社アセントの議場システムを導入しており、操作性に優れワンオペレーションが可能であること、万一のトラブルにもリモートメンテナンスが可能であることといったメリットがあり、デメリットとしては、リモート対応ができない不具合が発生した場合に、時間を要する場合があること、議場外の映像機器室でなければ操作ができないカメラアングルの調整などが挙げられるとのことであった。

## ○今後の課題

デメリットとしても挙げられたカメラアングルの調整や、現在システムに搭載されているものの、システムを利用せず起立により行っている採決について、今後、電子採決を活用するか検討する必要がある。

## 6 各委員からの質疑 :

### ○瀬崎委員

Q 普段の議会での傍聴者数は？

A 一般質問のときには多いときで10人弱。普段だと3人くらい。

今後は、小学校の社会科見学の一環で20人くらい来る予定している。

Q 車椅子の方は傍聴に来ているか？

A 来たことはない。

Q 電子採決を行わない理由を詳しく教えてほしい。

A 市民から見てボタン採決より起立採決の方がわかりやすいのと、押し間違いの防止等も考慮している。(制限時間内は、賛成・反対の押し直しが可能。)

### ○馬場委員

Q 一般質問の制限時間を過ぎた場合は、自動的にマイクを切れるのか。

A これまで超えた議員はいないが、もし超えた場合は打ち切ることになると思われる。

### ○小比類巻委員

Q 一般質問の制限時間90分は、このあたりの自治体はみんなそうなのか？

A 周辺自治体では一番長い。

### ○下山委員

Q 議場に段差を設けた理由について具体的に教えてほしい。

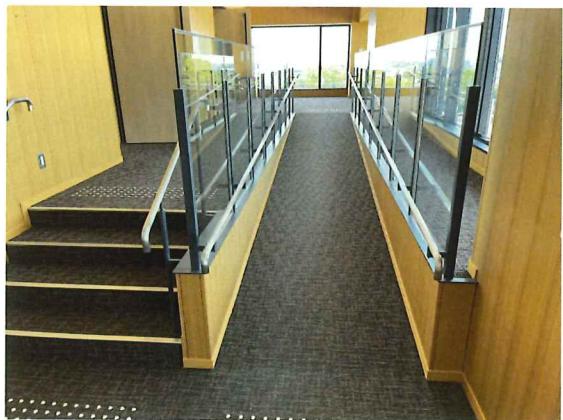
A 新庁舎建設前に、様々な自治体を視察して、フラットで円形の議場もあったが、段差をつけないと顔が見づらいということが大きい理由だと思われる。

### ○久保田委員

Q 議場システムのテロップ作成機能について具体的に教えてほしい。

A 発言者の名前のテロップ表示を状況に応じて○○委員長とか○○議員になりました、「まもなく議会が始まります」というテロップを表示するもの。

7 観察の様子と議場での集合写真（神埼市役所）：



## 視察概要－2【福岡県古賀市】

- 1 日 時：令和5年5月12日（水）14時00分～15時30分
- 2 場 所：古賀市役所 4階 第1委員会室
- 3 対応者：  
古賀市議会 議長 結城 弘明 氏  
副議長 田中 英輔 氏  
議会運営委員会委員長 奴間 健司 氏  
議会運営委員会副委員長 井之上 豊 氏  
議会運営委員会委員 村松 謙二 氏  
同 福崎 トビオ 氏  
同 松島 岩太 氏  
同事務局 参事補佐兼議事係長兼庶務係長  
中島 百合子 氏
- 4 観察項目：議会基本条例に基づく取組について
- 5 観察概要：議会基本条例に基づく取組について、当市議会がウェブサイトで公表している議会基本条例の令和2・3年度検証結果を事前に確認してくださり、各種取組の中でも、特に「政策提言」や「議員間討議」を古賀市でも同じく課題として認識しているとのことから、古賀市議会における当該2つの取組に焦点を当てた形で、議会運営委員会の奴間委員長より詳細にご説明をいただいた。
- 6 各委員からの質疑：
- 瀬崎委員
- Q 政策テーマ発表会の際の市民との連携はどのように行っているか。  
A あくまでも議会が主体的にテーマを決めている。
- Q 議会報告会は議案に対する報告会なのか、詳しい中身を教えてほしい。  
A 各委員会から委員会での取組状況などをお話しして、ワールドカフェ方式で市民の方が言いたいことを出してもらう方式で行っている。
- Q 災害対策という面で、議会として防災訓練は実施しているか。  
A 過去に各議員の安否確認訓練を一度だけ実施した。
- 田嶋委員
- Q タブレットのLINE WORKSアプリについて、個人が所持しているスマートフォンとの連携を行っているか。  
A 事務局から各議員に連携の仕方を教えていただき、活用している。
- 久保田委員
- Q 看護大学生インタビューとはどういうことをしているのか。  
A 市内の看護大学とパートナーシップ協定を結んでおり、学生の実習の一環として、毎年6月頃に実施している。

7 観察の様子と議場での集合写真（古賀市役所）：

